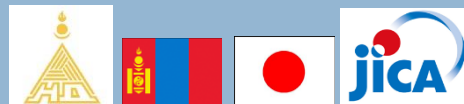


日本における研修時の記念撮影



JICA 社会保険実施 能力強化プロジェクト ニュースター第5号



2016年11月

★プロジェクトホームページを開設しました★ [HTTP://WWW.JICA.GO.JP/PROJECT/MONGOLIA/014/INDEX.HTML](http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/index.html)

主な内容 (次項)

日本で研修が行われました。

日本における研修が10月17日～28日に実施され、モンゴル労働社会保障省、医療・社会保険庁、各県および区の医療・社会保険事務所の職員の方々、計14名が参加しました。

(写真上:厚生労働省年金局幹部への表敬)



のたび研修団を受け入れていただいた皆様に、深く御礼を申し上げます。



帯広事務所での意見交換

研修報告会を実施しました。

11月1日、医療・社会保険庁において、日本における研修に参加した皆さんによる研修報告会を開催しました。業務改善、年金数理、待遇、研修開発という4つのグループに分かれ、今回の日本における研修で何を学んだのか、今後の実務をどのように改善していくべきかについてプレゼンテーションを行いました。(写真上) 実務の改善について各グループから様々な実用的な案が出、今後の活動が楽しみとなる素晴らしい結果となりました。また、佐藤 JICA モンゴル事務所長も出席し、各グループの報告後には研修修了証を手交しました。(写真左)



北海道大学公共政策大学院西村教授の講義



日本年金機構での講義

研修中には、厚生労働省、日本年金機構、北海道大学などを訪問して、日本の年金制度について学び、日本の年金にかかる専門家との意見交換を行ったほか、帯広年金事務所では、接客業務を含む年金事務所の日々の業務を視察しました。こ



連載「草原の国の社会保障」

モンゴルにおける社会保険の実情や、本プロジェクトを通して思う事などを随時お伝えいたします。今回は、「モンゴルの高齢化」についてです。(写真:医療・社会保険庁ホームページ「敬老の日」イベントより)



医療・社会保険事務所でのお客様満足度調査の実施

ウランバートル市内の医療・社会保険事務所において、お客様満足度調査アンケートを実施しました。(写真:ソングノハイルハン区医療・社会保険事務所外観)

草原の国の社会保障（第 5 話） 「忍び寄る高齢化」

皆さま、こんにちは。今回は、遠い将来を確実に予測する方法をお伝えします。

50 年後、世界がどうなっているのか予測できる方はいないでしょう。しかし、50 年後、皆さんが何歳になるか予測できない方はいませんよね。遠い将来の社会経済情勢を正確に予測できる者はいませんが、遠い将来であっても、国に高齢者が何人いらっしゃるのかが高い確率で予測できるのです。2015 年現在、モンゴルには 65 歳以上の高齢者が 11 万 5,065 名いらっしゃいます。そして、50

年後の 2065 年には、その数が 82 万 3,786 名になります。現在の 7 倍以上ですね。2015 年現在、15 歳以上の方々が何名モンゴルにいるのか分ければ、50 年後、この方々はすべて 65 歳以上になりますので、かなり正確に予測できます。モンゴルでは、毎年何名産まれ、何名亡くなっているのかという人口動態をしっかりと把握しているおかげです。

ところで、この予測を通じて、50 年後のモンゴルの社会がどうなっているのかある程度お伝えすることができます。実はモンゴルでは人口がどんどん増加したことで、65 歳以上の高齢者の人口に占める割合（高齢化率）は、これまで 4～5% で安定的に推移していました。ちなみに、現在の高齢化

率は 4.1%です。25 人に一人が 65 歳以上ということですね。ところが、2065 年の高齢化率は 19.2%です。5 人に一人が 65 歳以上となります。若い方々がたくさんいて、とても活気のあるモンゴルですが、50 年後は非常に多くの高齢者が暮らす国になります。

多くの方々に人口動態の分析と将来予測を行う手法を学んでもらうこと、そして、この将来予測を皆様に伝えることも私たちのプロジェクトの活動内容の一つです。確実に予測できる将来に備えるため、モンゴル国が今、何をすればよいか一緒に考えていければと願っています。

チーフアドバイザー 山下 護

医療・社会保険事務所でお客様満足度アンケート調査を実施しました。

10 月 4 日～6 日、市内 6 か所の医療・社会保険事

務所において、事務所のお客様サービスに関するアンケート調査を実施しました。調査には、モンゴル国立大学の学生の方々が協力をしてくれ、3000 以上に及ぶ回答を得ることができました。調査の結果は、今後のプロジェクトの活動に役立てていきます。



ご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。（写真①：パトジャルガル労働・社会保険省シニアオフィサーが、学生に対して説明している様子、写真②：アンケートに記入いただいている様子）

●トピックス●

10 月 27 日、モンゴル数理協会の会合に参加し、プロジェクトの紹介を行うとともに、モンゴルにおける年金数理人材の養成の重要性および同協会との協力の可能性について意見交換を行いました。（写真：意見交換の様子）



10 月 28 日、モンゴル国立教育大学にて、年金の意義について学生に対して講演を行いました。学生からは、「年金の意義を理解して保険料を支払っている人は少ないと思う。これからも地方などでこのような講演を行ってほしい」というありがたい意見が寄せられました。（写真：学生が質問をしている様子）



11 月 5 日、医療・社会保険庁職員全員を対象とした研修が実施され、プロジェクトメンバーも参加させていただきました。研修では一人一人がリーダーシップを発揮し、チームとして団結することの重要性を学びました。（写真は医療・社会保険庁長官のあいさつの様子）



ザグドスレン・プロジェクトアシスタントから一言

皆さまこんにちは。私は先日実施された日本の研修に同行いたしました。研修参加者はみなとても積極的で、充実した研修となりました。研修で学んだことを実践するという重要な活動に対して、プロジェクトはあらゆる面で支援を行っていきますので、どうぞよろしくお願いたします！（写真：日本での研修時において通訳を行っている様子）



プロジェクト・オフィス住所・連絡先

住所：Khuulichid Street, Chingeltei District, Ulaanbaatar 15160, モンゴル社会保険庁内 6 階 602 号室

電話(FAX)番号：(+976)-11-325125

ニュースレターのバックナンバーはこちらから

<http://www.jica.go.jp/project/mongolia/014/newsletter/index.html>

公式 Facebook アカウント：Жайка Нийгмийн Даатгалын төсөл
(←QRコードからも飛ぶことができます)

